



新潟国際情報大学

[本校・みずぎ野キャンパス] 〒950-2292 新潟市みずぎ野 3-1-1

tel. 025-239-3111 fax. 025-239-3690

[新潟中央キャンパス] 〒951-8068 新潟市上大川前通 7-1169

tel. 025-227-7111 fax. 025-227-7117

http://www.nuis.ac.jp somu@nuis.ac.jp

平成17年7月20日 発行

Vol.27



国際・情報

派遣留学
夏期セミナー夏期セミナー制度が、今年度で
発足6年目を迎えました。今年

過去最多の70人を派遣

国際化・

情報化真

った中

の国際社

会の理解

を深め、

語学も学

ぶ本学の

海外留学

度の参加学生は70人で過去最多
となりました。情報文化学科の
学生（2年次）の参加率は37.2
%、情報システム学科（2年次）
の参加率は11.8%になります。
参加学生たちは向学と期待に大
きく胸を膨らませて、いよいよ
8月から中国、韓国、ロシア、
アメリカ、カナダの5カ国の提
携大学に相次いで出発します。
派遣留学生は平成12年度の発
足以来6年間の累計が326人
となりました。それ以前の平成
7年度から10年度まで行われた
海外研修に参加した180人を
加えると506人が留学体験を
したことになります。本学のこ
の留学制度と実践語学教育の実

異文化に身をおく好機

情報文化学部

学部長
市岡 政夫

間もなく夏休み。本学独自の
教育プログラムである海外
派遣留学に、情報文化学科2
年次生の48人、海外夏期セミ
ナーに情報システム学科の2・
3年次生22人、計70人もの学

生たちが、今年も5カ国5大
学に向けて出発する。学生た
ちの多くにとっては初めての
外国体験となる。それも単なる
海外旅行とは異なり、異文
化社会に身を置きながら、自
分の生活を律し、勉学に従事
することになる。人生のなか
でまたとない好機である。

この際、学生たちには、それ
ぞれの行き先き国と大学で、
日本人という「外国人」の立
場に置かれることになること
の持つ意味を考えてほしい。
また、外国生活を通じて「日
本」という国をあらためて直
視してほしい。

言葉も生活習慣も異なる異
文化社会に身を委ねるには、
それなりの困難があり、それ
なりの努力が求められる。だ
からこそ、これまでに留学・
セミナーに参加した学生たち
は、言語学習をはじめ各教科
においても成果を挙げ、人間
としても一回りも、二回りも
大きくなって本学に戻ってく
るのを実感することができた。

これまでさしたる事故がな
かったことは幸いである。今
年もより細心の準備を整えて
学生たちを送り出したい。

これまで506人が留学

〈海外留学・セミナー参加学生の累計〉

	中国	韓国	ロシア	アメリカ	カナダ	計
平成 7年度	29	14	7	13		63
8年度	15	13	20	17		65
9年度	31					31
10年度			7	14		21
以上 海外研修計	75	27	34	44		180人
12年度	30				20	50
13年度	15	12	6	17	14	64
14年度	17	9	3	13	17	59
15年度	(中止)	4	1	11	6	22
16年度	31	7	2	13	8	61
17年度	18	13	5	12	22	70
計	111	45	17	66	87	326人
合 計	186人	72人	51人	110人	87人	506人

績は、受験生や在校生とそ
の父兄に注目されており、
また卒業生は他大学院に進

学したり就職先で活躍した
りして、県内外の企業から
も高く評価されています。

CONTENTS

2・3面

海外派遣奨学金授与式と壮行会
ミズーリ州立大学長が表敬訪問
アルバータ州立大学の学部長も来校
留学提携5大学の紹介
国際交流コーディネーター選抜

4・5面

教員の活動一覧（上半期分）
優良学生を表彰・奨学金授与
進路ガイダンス開く
公開講座のご案内
韓国総領事を招き記念講演
新しく「なび広場」WEBサイト

6面

新入生・卒業生に聞きました
（アンケート結果から）

7面

18年度入試日程概要一覧
オープンキャンパスなど案内

8面

情報システム学会を設立
卒業生の便り（博士号を取得）
スポーツ大会報告（学友会）
湧源・編集後記に代えて



慶熙大学 国際教育院(韓国)

2001(平成13)年
4月18日調印

韓国の首都ソウルにある名門私立大学。1999年に開校50周年を迎えた。ソウル、水原、光陵に3キャンパスがあり、10学部、10学科、16大学院を設置している総合大学で、世界50カ国、150校と姉妹関係を結び積極的に国際交流を進めている。特に外国人向けの韓国語教育は高い評価を受けている。

平成17年度留学スケジュール(出発順)

国名/留学大学	留学期間	参加人数
カナダ アルバータ大学生涯教育学部	平成17年8月 7日(日) ～9月11日(日)	情報システム学科 22人
アメリカ ノースウェスト・ミズーリ州立大学教養学部	平成17年8月22日(月) ～12月17日(土)	情報文化学科 12人
韓国 慶熙大学国際教育院	平成17年 8月30日(火) ～12月28日(水)	情報文化学科 13人
中国 北京師範大学歴史学部	平成17年9月2日(金) ～平成18年1月7日(土)	情報文化学科 18人
ロシア 極東国立総合大学	平成17年9月8日(木) ～平成18年1月8日(日)	情報文化学科 5人
参加学生数合計		70人

派遣留学制度ロシア・中国・韓国コースはそれぞれ20万円、アメリカコースは23万円、海外夏期セミナーカナダコースは15万円の奨学金が支給されました。



極東国立総合大学 (ロシア)

2000(平成12)年
11月17日調印

1899年に創設された東洋大学を祖とする国立総合大学で、ロシア極東最大の有名校。19の単科大学、約40の学部があり学生数は1万7000人、教員は約890人いる。寮はロシア語学校と廊下で直接結ばれ外国人用の特別なフロアーを設けて治安に留意している。ウラジオストク市は日本海に面した港町で東洋のサンフランシスコと言われ、冬の気候も比較的温暖。

奨学金授与式 壮行パーティー

本学を表彰訪問中だったノースウェスト・ミズーリ州立大(アメリカ)のハバード学長らも激励会に特別参加し、パーティーが一段と盛り上がりました。
奨学金授与式は今年8月からの出発順にカナダ・アルバータ大22人、アメリカ・ミズーリ州立大12人、韓国・慶熙大13人、中国・北京師範大18人、ロシア・極東国立総合大5人の全員が紹介されて晴れ晴れしく起立、各コース代表に武藤学長から証書が贈られました。学長は「中国や韓国での歴

今年度の派遣留学・海外夏期セミナー奨学金授与式と激励壮行パーティーが6月15日、本校大会議室と国際交流センターで行われました。

いざ留学へ！

心弾ませて。。

・市岡学部長「目標は決まった。日本人学生の代表として見られることに留意し、がむしゃらに学び、二回りも大きくなつて帰ってきてください」
・ハバード学長「素晴らしいキャンパスと学生に感銘した。このプログラムの大使の役目を果たし楽しく交流してくることを期待しています」
・広瀬情報文化学科長「百聞は一見にしかず。まさに人生が大きく変わってしまうような体験とチャレンジがあっていいじゃないか」

・榎本情報システム学科長代表「4カ月では短すぎるかもしれないが、海外の異文化の中で1人で暮らすという素晴らしい決断をした、その元を取ってきてほしい」
・遠藤ゆかりカナダコース代表「授業についていけない不安はあるけど、積極的に話しかけ、言語習得と交流を深めたい」
・松原美紗アメリカコース代表「文化、コミュニケーションの違いを学ぶことを楽しみ、自分の心の成長も大いに楽し

・渡辺亮一韓国コース代表「初の海外生活、日本の文化を見詰め直し異文化を理解したい。好きなダンス部に入り大いに交流したい」
・阿部貴之中国コース代表「中国人から見た日中関係はどうなのか、こんなときだからこそ留学で学びたい。北京五輪の時にはボランティアで参加したい」
・今野あかりロシアコース代表「個々人がしっかりと自分の目標を持って学びたい。日本を見詰め直すことができるように」



一人ひとりに奨学金



ハバード学長も激励



ちょびり緊張

激励パーティーは留学交流スペースでドリンクとデザートテーブルを囲み、派遣学生と教職員らが和やかに歓談し、期待と夢を語り合いました。特別参加のハバード学長はコップを片手に気さくに学生たちに「たくさんさんの友達を作って」などと語りかけていました。

北京師範大学 歴史学部(中国)

2000(平成12)年
4月14日調印



1902年創立の中国で最も古い教育機関の一つで北京大学、精華大学と並ぶ伝統ある名門大学。24学部、12の学院、21の専門研究所、25の研究センターを持つ総合大学。1965年から外国人留学生を受け入れ約650人が学んでいる。北京市に中央部にあり、北京市内にある唯一の大学で生活や社会見学にも好条件。大学キャンパス内にある留学生寮に宿泊できるので安心。

ノースウエスト・ ミズーリ州立大学 教養学部(アメリカ)

2001(平成13)年
1月29日調印



1905年に創立された3カレッジ22学部を持つ総合大学。教育レベルはアメリカ国内でも高く評価されている。特に英語を母語としない留学生への英語教育が充実、常時300人程度の留学生を対象とした少人数教育を実施している。アメリカ中西部の大都市カンザスシティから車で1時間半くらいのメリーヴェルという静かな町にある。町自体が同大学を中心につくられている典型的な学園都市。

アルバータ州立大学 生涯教育学部(カナダ)

2000(平成12)年
8月18日調印



アルバータ州都エドモントンにある総合大学。生涯教育学部が窓口となって、非英語圏から来た学生に英語教育を行い専門学部の授業を受けられるようにしている。情報学の担当者がいて「北米社会と情報」の受講が可能。留学プログラムには最新のIT技術実習とIT関連企業視察が含まれている。

カナダから2名史が来校

覚書には修学プログラムと取得単位、学生生活の綿密なEメール等での相互連絡などのほか、テロ遭遇対応指導なども盛り込まれています。
ハバード学長は調印式後に情報センターや国際交流センターなど学内を見学し、たまたま廊下で遇った同大学留学体験学生と懐かしそうに話し合い、また学生食堂では麻婆豆腐定食や豚カツ定食などのメニューを楽しそうに見て回っていました。

アルバータ州立大学(カナダ)からは6月3日、生涯教育学部のシェリル・マックウオーターズ部長とミミ・フレイ英語研修責任者の2人が本学を訪れ、武藤学長らと懇談し学内の施設見学を行いました。



同大学関係者の来校は昨年12月以来で、ミミ女史は本校からの留学生を中心になつて世話をしています。今日は今年度の夏期セミナーに参加する情報システム学科の学生たちとの意見交換会も行い、カナダでの生活のアドバイスをするなど親しく懇談しました。

派遣留学を延長、 了解覚書に調印

ミズーリ州立大 学長が表敬訪問

本学の派遣留学生を受け入れているアメリカのノースウエスト・ミズーリ州立大学のデイン・ハバード学長が6月14日から本学を訪れました。今年度から17週間と延長改善された派遣留学学生の留学期間は5週間で行われていたが、今年度からは17週間に延長することに同意、ハバード学長とチャールズ・マクアダムス教養学部長を招き了解覚書調印式を行いました。調印式が行われた大会議室には本学教職員と学生ら多数が参加し、両学長がこやかに握手し覚書を交換すると大きな拍手で歓迎しました。武藤学長は英語で「4年前に訪米し交流協定に調印して以来、交流の実績が大きく実り、温かい学生の受け入れに感謝しています。長期の海外研修が実現しより発展的な学生さらに教員、学術交流を期待しています」と挨拶。ハバード学長は「皆さんの温かい歓迎に感謝し、貴校の優秀な学生育成に感激しています。是非ノースウエストに来て、多くの国籍の学生と交流し、英語とアメリカ文化を楽しむ学んでください。またお会いできる日を楽しみにしています」と応えていました。

遣留留学交流協定の了解覚書の調印式に臨み、両校の発展的な交流拡大を武藤学長ら教職員とあらためて確認しました。ハバード学長は学内を見学し、留学生懇親パーティーなどに特別参加して学生たちとも親しく懇談、「大使の役目を期待している」などと激励していました。



調印を終えて握手する両学長



熱心に学内を見学

今年度から本学と(財)新潟国際交流協会が協力し、本学学生より「国際交流インストラクター」を選抜・養成することになりました。今年度はパイロット・ケースとなります。

国際交流コーディネーター

本学教員による厳しい研修を経て、試験に合格した15人の学生たちが晴れて「国際交流インストラクター」の資格を授与されました。今後、県内の小・中・高校の総合学習や地域の学習会などに派遣され、活躍することになります。

本学学生15人を選抜 8月には写真展を企画担当

これによって、本学学生がボランティアを通じて、自らの学習を実践的に深めることができるのみならず、今後も恒常的に地域の国際交流や国際教育に大きく貢献できることになるでしょう。

(情報文化学科助教授・佐々木寛)

親向け就職セミナー

若者の就職観 ～わが子をフリーターにたくない～



——講師プロフィール——

弁護士。1928年富山県生まれ。早稲田大学法学部卒業。東京地検検事、総理府(当時)青少年対策本部参事官などを経て、75年財団法人日本青少年研究所設立。総理府時代に手がけた「世界青年意識調査」は各界に反響を呼び、日本の青少年研究の第一人者として知られる。

講 師／千石 保氏 (財)日本少年研究所所長
日 時／平成17年9月4日(日)
13:00受付・開場 14:00開演
会 場／新潟国際情報大学新潟中央キャンパス 9F講堂
対 象／大学、短大、専門学校、高校生のご父母
定 員／200名(入場無料、先着順)
申込方法／往復ハガキに①住所②氏名③電話番号④参加希望人数(2名まで)をご記入のうえ、〒951-8068新潟市上大川1169「新潟国際情報大学公開講演会」係まで。
 ※本学にご子弟が在学されている場合は、氏名の後に「学年」をご記入ください。

内 容／フリーターやニート、さらには就職後の離職者が増加傾向にあるなか、特に大学生や高校生をお持ちのご父母を対象に、専門家の目に映る若者像を通して今後どのように我が子と向き合うか、我が子の将来とは?就職すると?外国の若者との考え方の違いなどについてご講演いただきます。



課指導第2係副参事・上原洋一氏、東京学館新潟高等学校前進路指導部長・石田光憲氏、株式会社三越新潟店長・相蘇恒孝氏、進研プレス編集長・関一憲氏、それに本学の赤木敏子学生部長もパネリストに加わってⅡ写真Ⅱ、さまざまな角度から進路についてのアドバイスを行いました。

大学選択にアドバイス 進路ガイダンスを開催

高校生・ご父母を対象とした進路ガイダンスが4月23日、本学新潟中央キャンパスで開催されました。このガイダンスでは、進路決定を目前に控えている高校3年生とご父母の皆さんが高校卒業後、幅広い進路選択の中から、自身に合う進路を考える際の参考にしていただけるようにと毎年実施しています。まず「進研プレス」編集長の関一憲氏が「進路選択のポイント」について講演を行いました。第2部では、新潟県教育庁高等学校教育

今年度の表彰奨学金の授与式が6月16日、本校中会議室で行われ、武藤学長から学業成績優秀者6人、課外活動功労者2件(個人1人及び1団体)に対して、授与証書および奨学金が授与されました。
 この奨学金は、本学が学生支援のために設けている奨学金制度の1つで、学業成績優秀者(前年度の学業成績が各学年・学科において最も優秀であった者)、課外活動功労者(課外活動において顕著な業績をあげた

7人、1団体に授与



表彰奨学金、優良学生を支援

者または団体)に対し、奨学金を授与(給付)するものです。
 ▽課外活動功労者は次の通り。
 ・がんばろう新潟A1実行委員会主催「がんばろう新潟!コンチネンタル杯学生英語スピーチコンテスト」で最優秀賞受賞。
 ・第53回中部大学第52回中部学生バドミントン選手権大会において、男子団体準優勝し、第55回秩父宮・秩父宮妃争奪全日本学生バドミントン大会出場。

臼井陽一郎(情報文化学科・教授)

- ・「気候変動問題の構成と国際共同行動の展開:国連環境計画の役割と欧州連合の実験」慶應E U研究会(慶應大学三田キャンパス、2005年5月21日)。
- ・「地域統合論の構成・その予備的考察:欧州統合研究の視点から」東アジア越境広域経営研究会(早稲田大学2005年3月16~17日、)。

長坂格(情報文化学科・助教授)

- ・「移民研究からみた難民研究:イタリア在住フィリピン人の事例を中心に」(分科会「人類学的移民・難民研究の実践と理論的課題」)日本文化人類学会第39回研究大会(北海道大学、2005年5月22日)。

広瀬貞三(情報文化学科・教授)

- ・「朝鮮総督府の土木官僚」日本の朝鮮・台湾支配と植民地官僚研究会(国際日本文化研究センター、2005年3月28日)。

3) その他

小澤治子(情報文化学科・教授)

- ・講演「北方領土問題と日露関係」(根室商工会議所、2005年2月26日)。

小山田紀子(情報文化学科・教授)

- ・講演「アルジェリア植民地史研究への視角—ポストコロニアルの視点から—」津田塾大学国際関係研究所 研究懇談会(2005年1月20日)。
- ・講演「現代イスラーム世界の動向—アルジェリア・イスラーム主義運動の高揚と挫折—」跡見学園女子大学人文フォーラム(2005年3月1日)。

- ・講演要録(2005)「現代イスラーム世界の動向—アルジェリア・イスラーム主義運動の高揚と挫折—」『跡見学園女子大学人文フォーラム』第3号(92~93頁)。

荻部恒徳(情報システム学科・教授)

- ・教科書(2005)荻部恒徳・成田圭市・矢口裕子/共編註: Gender and American Film. 英宝社(123頁)。

広瀬貞三(情報文化学科・教授)

- ・講演「日朝関係の現在と将来」新潟県電設資材卸業協同組合主催(ホテル日航新潟、2005年1月18日)。
- ・講演「日韓日朝関係と在日韓国朝鮮人」アクション・ヒューマンライツ新潟主催(新潟市万代市民会館、3月9日)。
- ・講演「映像で見る韓国社会」(三条東高校、3月17日)。
- ・講演「韓国の社会と文化」(ウェルシティ新潟別館、5月13日)。
- ・集中講義(スクーリング)「朝鮮近現代史」(放送大学新潟学習センター、6月11日・12日)。

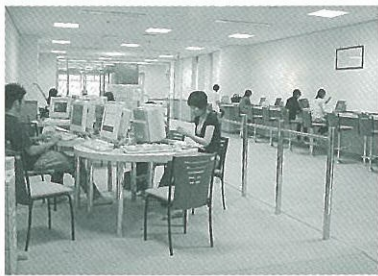
武藤輝一(学長)

- ・講演「メインシンポジウム「衛生学・公衆衛生学に期待すること」—(1)臨床の立場から— 第75回日本衛生学会総会(朱鷺メッセ、平成17年3月28日)。
- ・講演「シンポジウム「胃切除後の再建と機能温存手術」講評 第6回国際胃癌学会(パシフィコ・ヨコハマ、平成17年5月7日)。
- ・講演「シンポジウム(13)「外科侵襲に対する生体反応—最新の知見」での特別発言 第105回日本外科学会定期学術集会(名古屋国際会議場、平成17年5月11日)。

「なび広場」で待ち合わせを

国際交流センター入り口通路のパソコンスペースに、親しみやすい愛称を募集してきました。5月末までに45件の応募があり、情報システム学科2年・斎藤雅幸さんの提案した「なび広場」に決定しました。

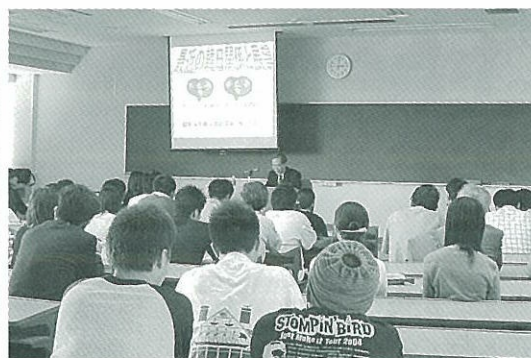
親しみやすい愛称がついたフロアをさらに有効活用してください。



金総領事は、現在の韓日関係に、①駐日韓国大使館・総領事館の役割、②韓国の歴史、③最近の韓日関係など、3つの点を述べました。歴史認識

今年には日韓国交正常化40周年を迎え、「日韓友情年2005」として日韓両国でさまざまな行事が行なわれています。この一環として、7月8日に本校で駐新潟大韓民国総領事館の金光圭（キム・カンギュ）総領事が、「最近の韓日関係と展望」と題して、特別講演を行ないました。会場には学生、教職員、市民など約100人が参加し熱心に流暢な日本語の講演に聞き入っていました。

「日韓友情年2005」で記念講演



金光圭・駐新潟大韓民国総領事を迎えて

問題については、「過去は決して避けることはできない。しかし、知った上で許し、同じ過ちを繰り返さないことが大事だ」と語っていました。また、最近の韓日関係において、1984年以降両国首脳の間で相互訪問が行なわれており、貿易面では相互が第3位に位置し、人的交流が活発であることを指摘しました。この結果、「韓国では日本への関心と理解が広まり、反日感情も変化し、改善の方向に向かっている」と話しました。また、「韓日両国は市場経済、民主主義の2つの価値観を共有しており、FTA（自由貿易協定）調印に向かって進むべきだ」と今後を展望していました。

（情報文化学科長・教授

広瀬貞三

本学WEBサイトを一新

4月から本学のWEBサイトのフロントページを一新しました。最近のアクセス数は1日平均350件以上と多くなっています。今後はさらにNUISニュースなども充実していきます。



教員の昇格人事

教授（情報文化学科） 平成17年4月1日付
澤口晋一、高橋正樹、白井陽一郎、G.ハドリ
（情報システム学科） 山口直人
助教授（情報文化学科） 長坂 格

教員の活動（2005年上半期・本人申告による）

1) 研究論文・図書

青淵正幸（情報システム学科・助教授）

- ・（2005）「測定された企業価値と株式の流動性」『年報経営分析研究』第21号10-17頁。
- ・（2005）「倒産予測実務データ入手上の溢路」『経営分析事典』税務経理協会（114-122頁；総頁314ページ）。

白井陽一郎（情報文化学科・教授）

- ・共著（2005）「EU環境法とポスト国民国家の言説：刑事罰適用と市民の司法アクセスをめぐる」『EU研究の新地平：前例なき政体への接近』ミネルバ書房（75-112頁；総頁300ページ）。

區建英（情報文化学科・教授）

- ・（2005）「明治立憲政と清末改革—福沢諭吉と嚴復の憲政思想—」鳥海靖編『日本立憲政治の形成と変質』吉川弘文館（141-164頁）。

越智敏夫（情報文化学科・助教授）

- ・（2005）'Erasing Memories, Preserving Memories: Political Meanings of Pollution and Antipollution Movements in Cold War Japan.' Journal of Pacific Asia vol.12 (pp.65-91)。

小山田紀子（情報文化学科・教授）

- ・（2005）「アルジェリアにおける1873年ワルニエ法と私的土地所有権の成立—原住民からヨーロッパ系入植民への土地所有権の移転—」『国際関係学研究』No.31（47-65頁）。

- ・（2005）「アルジェリア独立戦争と農村社会の変動—住民再編成の政策をめぐって—」『吉備国際大学社会学部研究紀要』第15号（113～127頁）。

羽部恒徳（情報システム学科・教授）

- ・（2005）'A Chronological History of the OED' 『新潟大学言語文化研究』第10号（81-88頁）。

佐々木寛（情報文化学科・助教授）

- ・（2005）「イラク戦争と『安全保障』概念の基層—『ヨーロッパ』再考」『世界システムとヨーロッパ』中央大学出版部（249-275頁；総頁275ページ）。
- ・（2005）「新しい安全保障研究に向けて—現代『安全保障』概念の位相」『東アジア安全保障の新展開』編著 明石書店（14-42頁；総頁306ページ）。
- ・（2005）「『戦争』を再考する」『平和学のアジェンダ』法律文化社（49-63頁；総頁227ページ）。

長坂格（情報文化学科・助教授）

- ・（2005）「フィリピン、イロコス地方における伝統的宴の現在：海外移住者の関わりを中心に」北原淳編『東アジアの家族・地域・エスニシティ：基層と動態』東信堂（16：354）。

2) 学会・研究会報告

青淵正幸（情報システム学科・助教授）

- ・（2005）「株式新規公開企業における利益調整行動の検討」日本経営分析学会第21回年次大会（明治大学、2005年5月）。

新入生に聞きました！

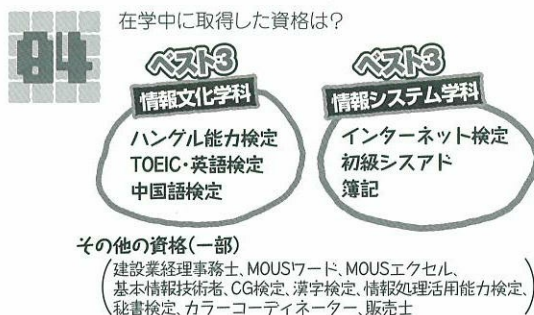
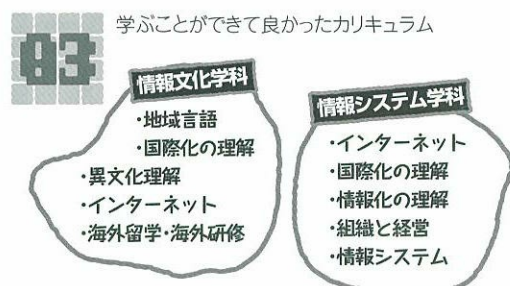
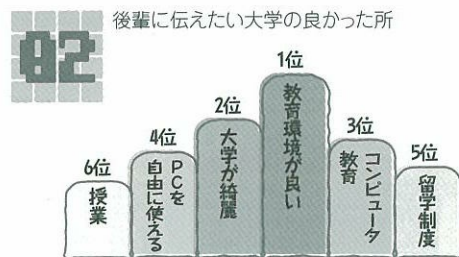
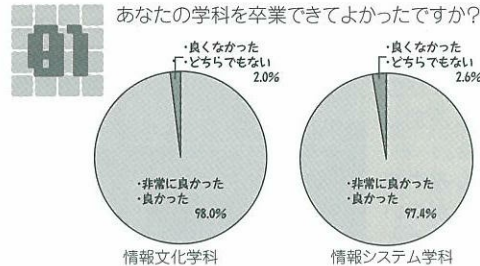
【平成17年4月新入生アンケートより】

情報文化学科		情報システム学科
大学案内……………26.1% 進路指導室の資料……………21.6% インターネット……………21.1% 高校の先生の話……………8.5% 情報誌……………7.0%	Q1 大学の情報を調べるのに何が参考になりましたか？ (ベスト5)	進路指導室の資料……………26.5% インターネット……………23.4% 大学案内……………21.3% 高校の先生の話……………6.9% 情報誌……………5.5%
親と相談して決めた……………50.8% 自分で決めた……………39.2% 高校の先生と相談して決めた……………8.3% 親が決めた……………1.7%	Q2 進路についてどのようにして決めましたか？	親と相談して決めた……………41.7% 自分で決めた……………41.1% 高校の先生と相談して決めた……………13.3% 親が決めた……………3.3% その他……………0.6%
はい……………70.6% いいえ……………29.4%	Q3 大学入試センター試験を受験しましたか？	はい……………52.6% いいえ……………47.4%
県内にある……………38.0% 国際化について学べる……………9.3% 自分の実力に合っていた……………7.3% 学科の特色……………6.6% 志望学科があった……………5.3%	Q4 あなたが新潟国際情報大学を受験しようと思った理由は？(ベスト5)	県内にある……………31.3% 情報化について学べる……………12.1% 志望学科があった……………9.0% 資格取得……………8.2% 設備が充実……………6.3%
言語……………24.4% 国際化について学ぶため……………19.4% カリキュラム……………13.6% 学科の特色……………6.6% 学科の目的……………6.2%	Q5 志望学科をどのように選択しましたか？ (ベスト5)	コンピュータ・ITを学ぶ……………32.6% 情報化について学ぶ……………19.3% 就職……………13.6% カリキュラム……………9.2% 学科の特色……………7.4%
はい……………63.6% いいえ……………36.4%	Q6 第1志望は本学でしたか？	はい……………71.5% いいえ……………28.5%
国際化 地域言語 国際化 異文化理解 コミュニケーション 海外留学・研修	Q7 新潟国際情報大学でどんなことを学びたいと思いますか？ (ベスト5)	国際化 国際化 コミュニケーション 異文化理解 地域言語 海外留学・研修
情報化 インターネット 情報化 情報処理演習 コンピュータと通信 人間と社会	Q8 これからどのように大学生活を過ごそうと思っていますか？ (ベスト5)	情報化 インターネット コンピュータと通信 情報システム 情報化の理解 情報処理演習
勉強とアルバイトを両立させる……………19.5% 勉強に励む……………18.8% 友達づくりに励む……………15.8% 勉強と遊びを両立させる……………13.4% アルバイトに励む……………10.1%		勉強に励む……………19.7% 勉強とアルバイトを両立させる……………16.4% 友達づくりに励む……………15.0% 勉強と遊びを両立させる……………12.9% アルバイトに励む……………12.0%

※複数回答あり

卒業生に聞きました！

【平成17年3月卒業生アンケートより一部抜粋】



大学に進学してよかったこと！

【平成17年3月卒業生アンケートより一部抜粋】

情報文化学科

☆: 女子
★: 男子

- ☆視野が広がった、世界に目を向けられるきっかけとなった
- ☆留学ができ多くの経験ができた
- ☆就職の選択の幅が広がる
- ☆自由
- ☆多くの人と関わり、人間関係など勉強になった
- ☆コミュニケーションの力がついた
- ☆多くの知識を知る事ができた
- ☆深くさまざまな学問を学ぶことができた
- ★多くの仲間がで、自分自身が成長できた
- ★4年間という時間を有効に使えた
- ★勉強の面白さを知った
- ★自分の新しい可能性をみつけられた
- ★就職に有利
- ★人生の目標をみつけられた

情報システム学科

☆: 女子
★: 男子

- ☆就職活動が有利になった
- ☆やりたい仕事につくことができた
- ☆4年間という時間でいろいろなことを経験できた
- ☆社会をじっくり見られた
- ☆大学生活全部
- ★自主的にいろいろ挑戦することができた
- ★あらゆる面において視野が広がり、成長できた
- ★多くのことを学べ、多くの友人と出会えた
- ★勉強以外でもさまざまな視点から物事を見られるようになった
- ★多くの分野を学び、知識を身につけることができた
- ★専門の知識を得ることができた
- ★楽しく過ごせた
- ★資格取得
- ★4年間自分と向き合うことができ、何がしたいか見つけることができた

高校生はじめどなたでもご参加できます！

OPEN・CAMPUS 2005 オープンキャンパス

2回目 **10/1** ±
10:00～15:30

学科及びカリキュラム説明
入試情報説明
入試問題の傾向と対策
模擬講義
コンピュータ実習
語学体験

個別入試相談
就職相談
海外留学相談
学生との懇談
学内見学



◎会 場 **本校みずき野キャンパス**

新潟市みずき野3-1-1 TEL 025-239-3111 JR越後赤塚駅下車徒歩7分
※変更となる場合もありますので、事前にご確認ください。

参加お申し込み・お問い合わせ

新潟国際情報大学 広報係

〒950-2292 新潟市みずき野3-1-1
TEL 025-239-3111 FAX 025-239-3690
E-mail soudan@nuis.ac.jp

NUIS-LIVE

大学ではどんなことを学ぶの？
NUISの特色ある講義を体験しよう！

国際化・情報化を体験

日程／平成17年 **8月23日** (火)
時間／10:20～15:00

講義内容

日韓朝関係論	ネットワークコンピューティング
異文化理解	情報倫理
資源と環境	情報産業
南北問題	情報社会論
	人工知能入門

平成18年度 入学者選抜試験概要(要約一覧) ※詳細は平成18年度応募要項で確認してください。

入試区分		募集人員		出願期間	試験日	試験地	試験実施教科・科目	合格者発表日	
高校長推薦入試	指定校制	情報文化学科	10	30	17年11月1日(火)～ 17年11月8日(火) 出願期間内消印有効	17年11月13日(日)	新潟	面接・小論文 学力推薦要件については募集要項で確認ください。	17年11月17日(木)
		情報システム学科	20						
	公 募 制	情報文化学科	30	65					
		情報システム学科	35						
	スポーツ	情報文化学科	若干名						
情報システム学科									
一般入試	前 期	情報文化学科	35	95	18年1月6日(金)～ 18年1月20日(金) 出願期間内消印有効	18年2月2日(木)	新潟 上越	・国語:国語総合(現代文)・現代文 ・数学:数学Ⅰ・数学Ⅱ (数学Ⅱは、微分・積分を除く) ・外国語:英語Ⅰ・英語Ⅱ 上記3教科の中から2教科を試験場で選択	18年2月7日(火)
		情報システム学科	60						
	大学入試 センター 試験利用	情報文化学科	15	35	18年2月1日(水)～ 18年2月15日(水) 出願期間内消印有効	18年1月21日(土)、22日(日) の入試センター試験を受験 していること		学科試験を課さず、18年度のセンター試験の 成績で判定。全教科の中から2教科2科目選択 配点:各教科100点。 (3科目以上受験した場合は高得点の 2教科2科目を合否判定に使用)	18年2月24日(金)
		情報システム学科	20						
	後 期	情報文化学科	10	25	18年2月17日(金)～ 18年3月2日(木) 出願期間内消印有効	18年3月8日(水)	新潟	・国語:国語総合(現代文)・現代文 ・数学:数学Ⅰ・数学Ⅱ (数学Ⅱは、微分・積分を除く) ・外国語:英語Ⅰ・英語Ⅱ 上記3教科の中から2教科を試験場で選択	18年3月11日(土)
		情報システム学科	15						
	社会人入試		情報文化学科	若干名	17年11月1日(火)～ 17年11月8日(火)	17年11月13日(日)	新潟	面接・小論文	17年11月17日(木)
			情報システム学科						

(注) 情報文化部の定員は、情報文化学科100名、情報システム学科150名、合計250名です。

本学独自の 奨学金制度(給付)

- 学費特別給付奨学金(全学年対象) 授業料全額又は1/2
- 表彰奨学金(2～4年生対象) 10万円
- 海外派遣留学・海外研修奨学金(2年生対象) 15万円～23万円
- 資格取得奨励奨学金(全学年対象) I種5万円、II種2万円
- 学費臨時給付奨学金(全学年対象) 授業料・施設設備費の当該期分全額又は1/2
- 学費奨学融資制度奨学金(3・4年生対象) 借入利息相当額

◎入試と奨学金の詳細については事務局までお問い合わせ下さい。 TEL025-239-3111 E-mail gakumu@nuis.ac.jp

卒業生の便り

昨年度の春、11年にもおよぶ大学生生活が終わりました。学部を終え、研究生、慶應義塾大学大学院理工学研究科へと進んだので、とても多くの変化があり、ときには止めてしまおうかと思うこともありました。その度に踏みとどまり工学博士の学位を取得することができました。

その11年間、多くの先生たちにご指導いただきながら、研究してきたテーマは、オンラインショッピングにおける効果的な商品情報です。検索が苦手なユーザーでも簡単快速に商品を検索できるように、ユーザーが使ったキーワードの共通性を

オンラインショッピングを研究

工学博士の学位取得

情報システム学科1997年度卒業
三條 知美



探し、気に入りそうな商品を自動的に検索するというシステムです。何十冊も文献を読み、調査・実験を重ね、成果が出せなければ文献調査からやり直しという繰り返しでしたが、それでも、私が論文を書くと思うのは、得られた成果を論文というものにまとめられたときに、とても大きな達成感を得られるものだからです。

3月でいったん学校を離れましたが、もともと私は経営学に興味を持っており、将来は大学で経営学を指導する立場になりたいと考えています。大学の立場からだけでは実践が身につかないと考え、一度は社会に出ようと思いました。現在は期限付きで、IT系企業のシステム部門で働いています。

この間、会社がどういふものかをしっかりと学び、大学で指導するための材料にできればと考えています。

本学3教授の準備が実る

本学情報システム学科の竹並輝之教授、高木義和教授、それに浦昭二名誉教授などが中心になって準備を進めてきた「情報システム学会」の設立総会が4月23日、東京・神田錦町の学士会館で開かれました。既に約300人が会員登録済みで、事務局は本学内に置かれ早速活動を開始、11月には初の研究発表大会が予定されています。

同学会の設立趣旨は、情報システムは単なるコンピュータシステムではなく、人間活動を含む社会的システムであるという理念をもとに、利用者のためになる情報システムを企画、設計、構築、活用する方法論を、企業の実務家と大学の研究者が協力して研究していこうということです。人間中心の情報システムを志向し、ビジネス・研究領域の融合や情報シ



北村裕太郎会長が記念講演

情報システム学会を設立

本学内に
事務局

ステム人材の育成を目的とした学会です。

設立総会では竹並教授が議事進行を務め、設立趣意書や学会の役割など設立経過の説明を行いました。会長には経済同友会代表幹事の北村裕太郎氏（日本アイ・ビー・エム会長）が就任し、また、本学の3教授は理事として中心的な運営に当たります。

記念講演が行われ、北村裕太郎会長による「日本経済の課題と展望」イノベーションで新たな成長の基盤を築く」と、今道友信東大名譽教授による「情報と理論」21世紀の課題」で、昨今の情報社会環境の中で興味深い内容となりました。今後講演会やテーマ研究会の開催、論文誌の発行などを継続的に進めていきます。

学会誌は印刷物による配布をやめ、WEBでの閲覧方式にしました。それにより通信費を抑え会

費を安くすることができるとともに、投稿された論文の掲載までの時間を大幅に短縮することができそうです。詳細は学会のWEBサイト <https://jsi.nuis.jp/> をご覧ください。



アームレスリングで盛り上がる

スポーツ大会を終えて

スポーツ大会実行委員長
情報文化学科2年 齊藤 巧一

今年度のスポーツ大会は5月19日に本校で開催されました。3競技の他アトラクションが私にとってこの行事は大きな難関の一つでした。

スポーツ大会は本学のメインイベントの一つで、新学期間もない全学の交流を目指しています。昨年度、私は実行委員として大会運営に当たり、大体の流れはつかんでいました。今年度の大会の実行委員長に立候補

湧 YUUGEN 源

編集後記に代えて

広報委員長 永井 武

大学は厳しい時代を迎えています。今年の志願者は実質2倍強で、そこを突破した学生が勉強をしています。今後とも、厳しい状況が続きますので、入学した学生はよく勉強できるように工夫を重ねています。昨年から私の講義はメディア準備室の協力を得てe-learningを取り入れ、みずき野キャンパスの講義を新潟中央キャンパスでも聴講可能にしています。

e-learningは、講義の音声と使用したPowerpointのスライドがすべて収録され、目次をつけて大学のWEBサイトにアップされます。

e-learningのよいところは、学生が何回でも復習できることです。目次はハイパーテキストですので、学生が復習したいところに行くことができます。特に、私の担当のコンピュータシステムとネットワークコンピュータは今年から必修になりましたので、分からないままにしておく卒業できなくなるおそれがあります。このような工夫をして在学生には大いに勉強してもらおう環境づくりをしています。

コンピュータシステムがどうして必修になったか手短かに話すと、コンピュータシステムとネットワークコンピュータはJABEE(日本技術者教育認定制度)の必修科目で、JABEEを本学が取り入れるからです。少子化の時代に大学ができることは、在学中に大いに勉強してもらい、それを社会に出て役立てて活躍してもらうこと以外方法はないのです。

教員一人ひとりが、大学の使命と大学が置かれた状況を理解し行動することが必要です。

したのも昨年度の経験が生かせると思ったからです。大会準備期間は常に時間に押されていました。特に大会3週間前からは目が回るほど忙しかったことを覚えています。当日は、強風ではありましたが、晴天に恵まれ無事大会を終えることができました。この有意義な行事に参加された皆さんには本当に感謝しています。スポーツ大会の成功は皆さんの協力あつてのものだと感じています。来年のスポーツ大会は今年以上に盛りあがることを期待しています。